

おとさだ
乙貞

第 215 号 通巻 37 巻 第 6 号
平成 30 (2018) 年 2 月 1 日 発行

守山市立埋蔵文化財センター
TEL/FAX 077-585-4397

〒524-0212
守山市服部町 2250 番地

例年にもまして寒さ厳しい日々が続いています。この時期、発掘調査にとっては、雨や雪よりも凍てついた土がいちばんの難敵になります。移植ゴテはもちろん、スコップでも掘り下げることができませんし、解け出せば、たちまち調査現場はぬかるみと化し作業の妨げとなります。そのような中、悪戦苦闘しながらも発掘調査は着々と進んでいます。

さて、乙貞2月号では、昨年末に発掘調査が終了した伊勢遺跡と山田町遺跡の成果をご報告したいと思います。

発掘調査だより

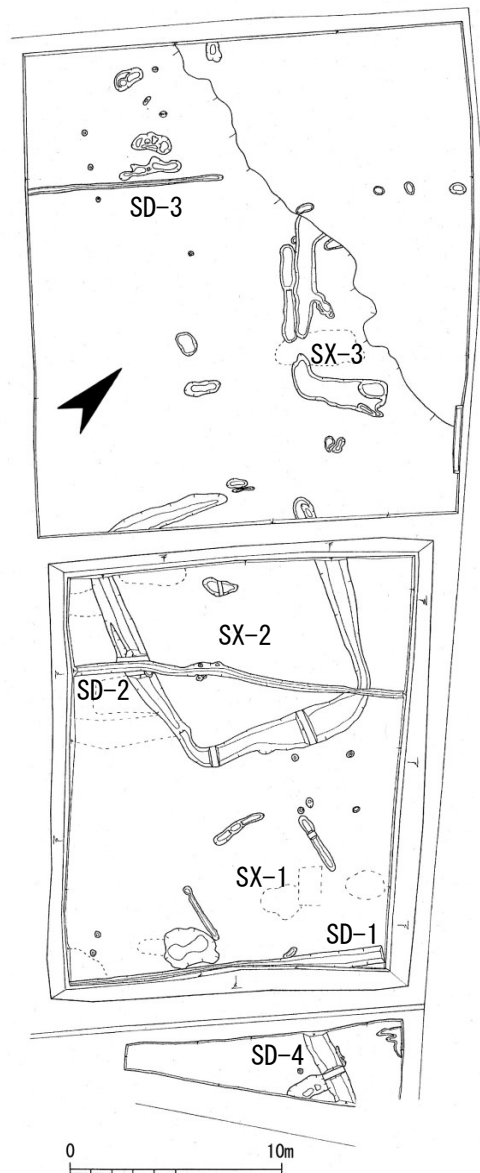
伊勢遺跡の調査 (126 次調査)

今回の調査は道路建設工事に先立ち、伊勢町字井上で実施したもので、伊勢遺跡の調査としては126 次を数えます。調査場所は伊勢町域の西端にあたり、栗東市の大宝神社とその南東側に伸びる JR 琵琶湖線に挟まれた農地で、建設面積約 3,300 m²を調査対象として、昨年 9 月より開始し 12 月に終了しました。

現況の畦や溝で3 調査区に分けて調査した結果、右図にあるように、ほうけいしゅうこうぼ 方形周溝墓 3 基 (SX-1~3) や溝 4 条 (SD-1~4)、土坑、ピットを検出しました。

まず、方形周溝墓は古墳時代初頭の築造時期が考えられます。SX-1 が一辺約 6m、2 が 12m、3 が 8m の規模で、SX-1 と 2 は南北をやや西に偏る方位、3 はその方位を異にします。

次に 4 条検出した溝のうち、SD-1 は幅約 2m、深さ 50cm の規模で、SX-2 の東辺溝を切り込んでいます。SD-2 は方形周溝墓 SX-1 を切り込み、りょくゆうとうき 緑釉陶器の碗わんが出土していることから奈良時代から平安時代初頭にかけての時期が考えられます。



また、SD-3 も SD-2 と同時期の溝と推定できます。東側の調査区から検出した SD-4 は、SX-1、2 と同方位に伸びるため、周溝の一部である可能性があります。

以上が検出遺構の概略ですが、今回の調査地からJR線路を越えた東方約20mの28次調査地でも同時期の方形周溝墓群が見つかり、一辺10m前後の周溝墓に小規模の周溝墓が付随するという特徴が見られました。今回見つかった3基の方形周溝墓のうち、SX-1、2 も同方位に築かれているものの規模に格差があり、この傾向に当てはめることができ、28次調査地で見られた募域が線路を越えてここまで広がっていることが想定できます。



上 SX-1、2 検出写真 下 SX-3 検出写真

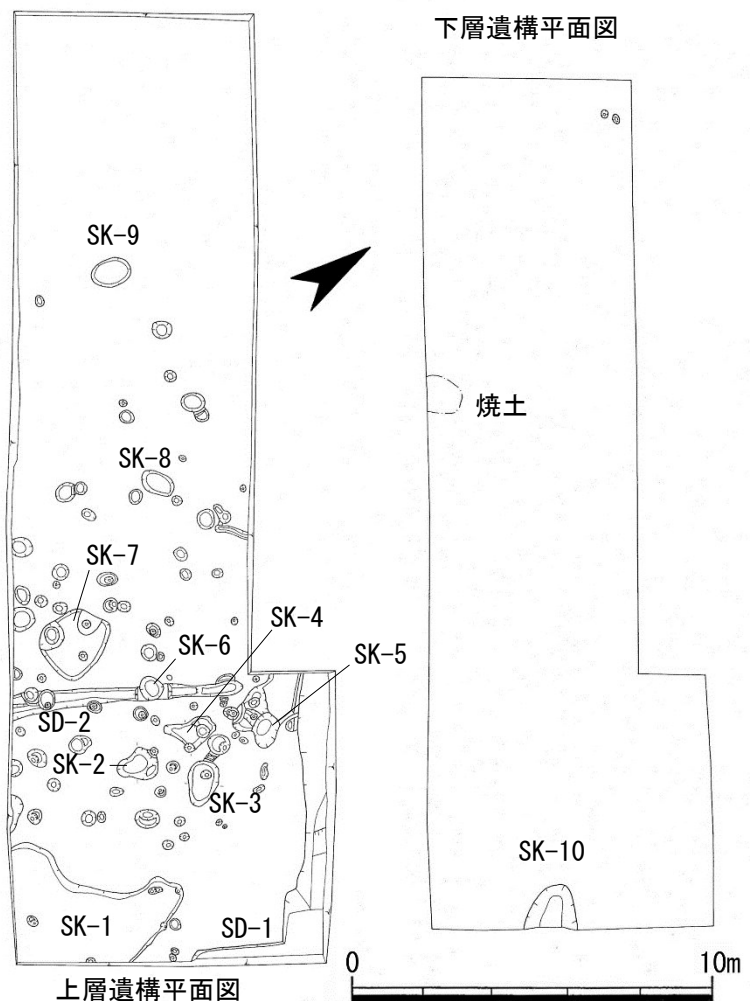
(今村)

山田町遺跡の調査（8次調査）

12月初旬から年末にかけて、焰魔堂町字新古前で、宅地造成工事に伴う発掘調査を実施しました。調査は、宅地内道路予定地のうち、約200㎡を対象としました。

遺構は、耕作土を取り除いた深さ約30cmの上層で土坑（SK-1～9）、溝（SD-1、2）、ピットなどを確認し、さらに上層遺構から黄灰色粘土層、淡茶灰色粘土層を約60～80cmを掘り下げた下層からも遺構を検出しました。

上層の遺構は、東壁に沿ったSD-1と、西壁から北東に伸びるSD-2を検出しました。この溝は区画の溝と考えられます。遺物は



弥生時代中期から古墳時代前期の土器が出土しています。SK-1～9の土坑は、形状も大きさも多様で、配置も不規則です。また、ピットも建物を構成するようなものではありません。

次に下層では、土坑1基（SK-10）とピット2穴、焼土を検出しました。焼土はカマドの可能性もあることから周辺を精査しましたが、建物は把握できませんでした。

山田町遺跡では、これまでも多様な土坑が見つかっていて、この遺跡の特徴のひとつとなっていますが、その性格はわかっていません。 (畑本)

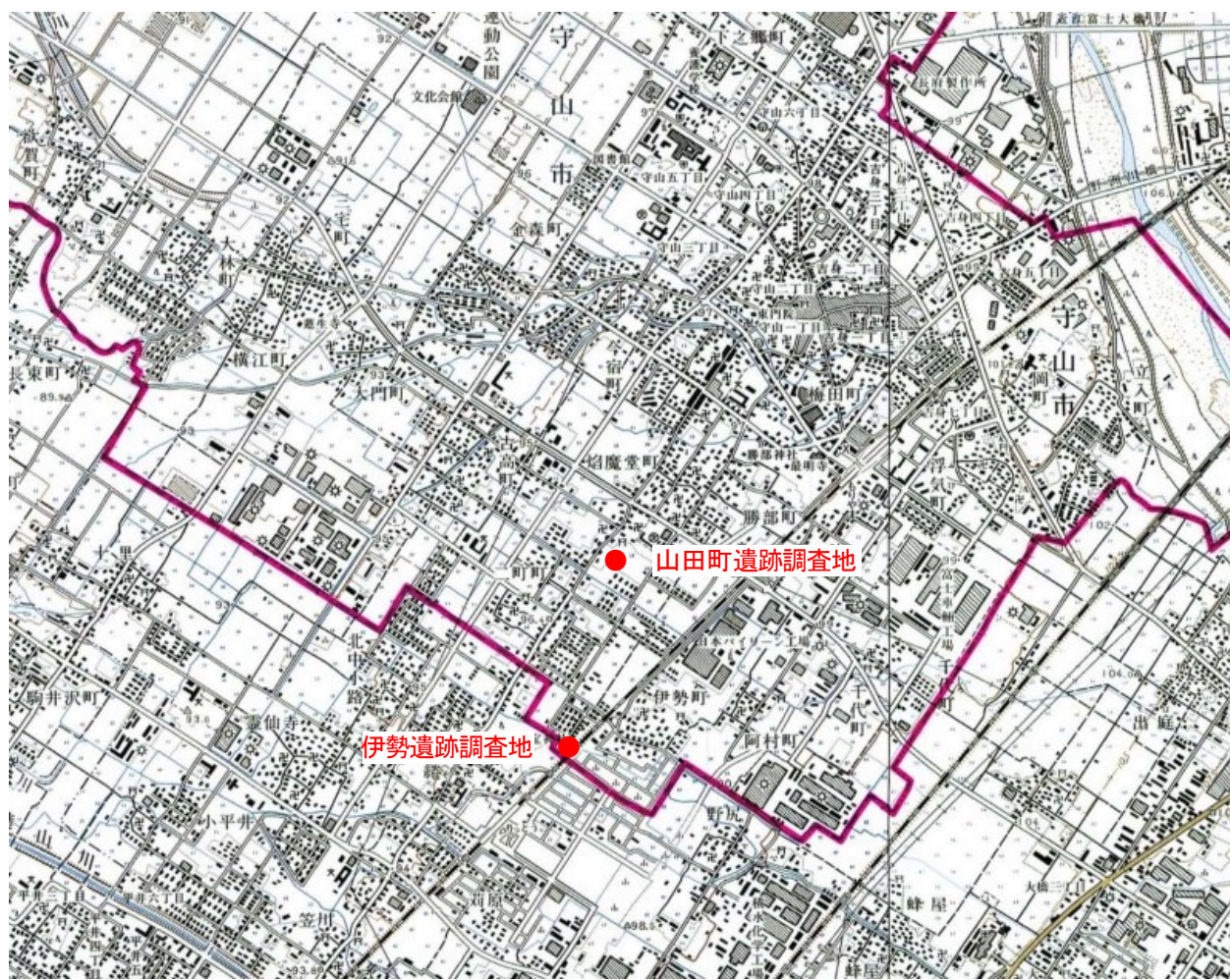


▲上層遺構全景



▲下層遺構全景

発掘調査位置図



トピックス

友の会の会員を募集しています！

埋蔵文化財センター友の会は、歴史や遺跡などの文化財に興味のある者の集まりです。現在会員は55名で、地域の歴史はもとより日本の歴史を楽しく学ぶため、年4～5回、県内外の博物館や資料館、史跡、社寺仏閣の見学を行なっています。

歴史や文化財に興味のある方のご入会をお待ちしています。

平成29年度の主な活動

総会・第1回見学会 5月21日(日)

【見学先】多賀町立博物館、多賀大社見学

第2回見学会 7月14日(金)

テーマ「丹波焼きのふるさと 篠山をたずねて」

【見学先】丹波古陶館、篠山城、篠山城下武家屋敷安間家

第3回見学会 10月11日(水)

テーマ「大阪府羽曳野市 古市古墳群とその周辺」

【見学先】誉田山古墳、史跡峰ヶ塚古墳など見学ウォーキングと大阪府立近つ飛鳥博物館特別展見学

(予定)第4回見学会 2月2日(金)

テーマ「葛城地域の文化財を巡る～飛鳥文化・天平文化を中心に～」

【見学先】奈良県香芝市尼寺廃寺跡(国史跡)、二上山博物館、葛城市當麻寺

年会費 2,000円(ただし、家族会員2人目からは1,000円、見学会は実費負担となります。)
お問合せ 守山市立埋蔵文化財センター 585-4397



第1回見学会の様子



(左)第2回見学会 丹波篠山城下の散策風景

(右)第3回見学会 近つ飛鳥博物館見学の様子

第3回見学会 応神天皇陵古墳を背景に撮影

【後記】この乙貞の編集・発刊は、この2年間、調査員の今村翔吾君が担当していました。ご存知の方もいらっしゃるかと思いますが、今村君は、発掘調査とあわせて時代小説の執筆活動を行なっていました。その甲斐あって多くの読者を得るようになり、この度、執筆活動に専念するため退職しました。そのようなことから、何年かぶりに乙貞の編集をすることになりましたが、プランクが災い？し、読みづらい紙面になってしまいました。今後、読んでおもしろい、わかりやすい紙面づくりに努めていきます。
(馬耳東風)